



令和8年度11月号（10月30日発行）

渋谷区立広尾中学校 学校だより

『若木の丘』

広尾中学校ホームページ

<https://shibuya.schoolweb.ne.jp/1320118>



教育目標

- ・自らの頭で考える生徒の育成
- ・自分の人生をデザインできる生徒の育成
- ・変革やチャレンジをし続ける生徒の育成

『共に創り上げるということ』

副校長 奥井 伸

10月24日、若木祭（舞台発表の部）が終わりました。保護者や地域の皆様におかれましては、若木祭に向けた生徒たちの取組を温かく見守っていただきありがとうございました。今後とも本校の教育活動への御理解と御協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

さて芸術科目の副校長として、当日の結果はもちろん、それ以上に印象に残っているのは、そこに至るまでの過程です。練習が始まった頃は、思うように声が出なかったり、男女のバランスが合わなかったり、曲のイメージを共有できなかったりと、どのクラスも試行錯誤の連続だったように感じます。練習中に立ち止まり、話し合う機会をもったことも一度や二度ではなかったはずです。先輩の合唱を聴き、自分たちの表現を見直す機会をもった学年もありました。そうした一つ一つの時間が、本番での歌声につながったのだと思います。

私が若木祭の成功を強く予感したのは、全校リハーサルの時でした。生徒が集まり、会場の空気がずっと引き締まりました。自分たち以外の学年の合唱に耳を傾ける姿、歌い終えた仲間に惜しめない拍手を送る姿。その一つ一つから、「みんなで若木祭を創り上げよう」という思いが伝わってきました。中でも印象的だったのは、先輩から後輩へ送られたアドバイスです。単に「もっと大きな声で」といったものではなく、曲の場面をどのように捉えるのか、歌詞に込められた思いをどう表現するのか、声を合わせるために互いの音をどう聴くのか。合唱を表面的ではなく、音楽として深く考えてきたからこそその言葉が交わされました。その内容の確かさに、広尾中学校の合唱が先輩から後輩へ受け継がれていることを感じました。

合唱とは不思議なものです。一人一人が自らの役割を果たし、時には相手に合わせ、時には自分の考えを伝えながら一つの音楽を創り上げていきます。自分の思いだけを押し通すのではなく、互いの考えや表現を尊重し、よりよい表現を求めて折り合いをつけていく。言わば合唱とは、音楽を通した合意形成の営みです。だからこそ、一曲を歌い終えたときに生まれる達成感

は特別なものになるのでしょうか。

1年生は、初めての若木祭に向けて、リーダーを中心に声を合わせるところから取り組みました。2年生は、昨年の経験を生かし、自分たちで考えながら合唱を創り、会場や舞台を支える準備にも力を尽くしました。そして3年生は最高学年としての軸を最後までぶらすことなく、学級全体をまとめ上げ、その歌声と背中をもって広尾中学校の伝統を後輩たちに示してくれました。

当日は、保護者や地域の皆様、そして来年度以降の入学を考えている児童とその保護者からも、生徒たちの取組や歌声を讃える声をいただきました。皆さんが仲間と重ねてきた時間と、舞台上で届けた歌声は、会場にいた多くの方の心にしっかりと届いていました。

結果はそれぞれだったと思います。しかし、順位だけでは語れない価値が、どの学級にもあったのではないのでしょうか。思うように歌えず悔しさが残った人、練習中に自分の意見を十分に伝えられなかった人もいるかもしれません。それでも、仲間と一緒に一つのカタチを創り上げたという経験は、確実に皆さんの中に残っています。

3年生はいよいよ進路面談を迎えます。自分の未来の姿を見据え、進む道を選び取っていく時期が来ました。1・2年生は後期中間考査が近づいてきました。目標や課題はそれぞれ違いますが、自分の役割を見つけ、周囲と協力しながら前に進むことの大切さは変わりません。

これまで折に触れ、「想像する力を育もう」と伝えて続けてきました。さて若木祭が終わった今、皆さんはぜひ自分自身に問いかけてみてほしいと思います。「私はクラスのために何ができただろうか」「仲間のためにどのような行動をとっただろうか」と。そして「その結果がどのようなカタチになっただろうか」。もしその問いに胸を張って答えられるのであれば、それは順位や結果以上に価値のある成長だと私は思います。

11、12月の主な行事予定

今月の予定
11月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
東京都教育の日	三者面談（3）	文化の日	三者面談（3）	三者面談（3）	三者面談（3） プログラミング授業（2）	くみんの広場 パレード
8	9	10	11	12	13	14
		全校朝礼 安全指導	後期中間考査（3） 職員会議	後期中間考査（全）	後期中間考査（全） 面接ガイダンス（3）	土曜日授業（3時間） 避難訓練 CS③
15	16	17	18	19	20	21
	生徒総会	生徒会朝礼 秋の歯科検診 探究視察 中間考査個人成績表配付（3）	中高連携広尾Ship② 部活動体験（1） 授業体験（2）	避難訓練 評定入力締切（3） 個人成績表回収（3）	評定提出締切（3） 中間考査素点入力締切（1,2）	
22	23	24	25	26	27	28
ESAT-J(3本試験日)	勤労感謝の日		探究全体研修 中間考査個人成績表配布(1,2) 成績開示（3）		三者面談（全）	氷川クイズキャンペーン②
29	30					
新橋こども広場	三者面談（全） 個人成績表回収（1,2）					

来月の予定
12月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
		三者面談（全）	三者面談（全）	三者面談（全）	三者面談（全）	
6	7	8	9	10	11	12
	全校朝礼 安全指導		職員会議	専門委員会	避難訓練 中央委員会	
13	14	15	16	17	18	19
ESAT-J(3 追・再試験日)	生徒会朝礼			音楽鑑賞教室（2）		
20	21	22	23	24	25	26
	学年朝礼			大掃除	学年集会 全校集会 TLD	冬季休業日(始)
27	28	29	30	31		

次ページでは若木祭実行委員から発行された「若木祭だよりNo.3」を原文のままご紹介します。本番直前の生徒たち意気込みをご確認ください。

若木祭だより

令和8年10月24日(木)

No.3

若木祭実行委員

担当：3年

若木祭本番まであと2日と、本番がよいよ迫ってきました。
そんな中各クラスに意気込みを尋ねてみました！！

若木祭への各クラスの意気込み！！！！

1年1組

最初1組は全体の息がなかなか合わず、タイミングがそろわないこともありましたが、練習を重ねる中で少しずつ声を掛け合い、お互いに合わせられるようになりました。若木祭本番では自分たちの強みでもある元気を、歌に表して今までの練習の成果を出し切りたいです。

1年2組

初めての若木祭練習で、音程があっていなかったり、みんなで団結するのが難しかったりしたのですが、練習を重ねていくうちに協力し、音程もあってきました。持ち前のエネルギーな声を若木祭で披露したいです。

2年1組

短い練習期間で、うまくいかなかったり、大変なこともたくさんあったりしたけど、みんなで力を合わせてスローガンである「共創」を達成したいです！また、2年1組は、伴奏者がいないので、急遽アカペラになりました。そんな大きなハプニングを乗り越え、絶対みんなで協力すれば実現できると思うので、力を合わせて素敵な若木祭にしたいです！

2年2組

私たちはどの行事も全力に取り組むクラスです。時には歌のことで互いの気持ちがぶつかることもありましたが、それでも高め合ってきました。私たちのクラスはpassion(情熱)を大切にしています。そんな私たちのスローガンは「passion for Unity」です。これは結束への情熱という意味で2年2組の強みである団結力とpassionをくっつけました。私達の情熱を歌にのせて最高の若木祭を共に創ってみせます！

3年1組

私たちのクラスは行事に皆で真剣に取り組み、自分たちで考えて行動できるクラスです。パートごとのバランスが偏ったりなどしましたが、それを自分たちでどこがダメだったのかなどを話し合い成長してきました。若木祭本番では「共創」というスローガンを達成するとともに、課題曲では自分たちの旅立ちへの思いを、自由曲では個々の大切なものへの想いを込めて歌います。皆で協力し最高の若木祭にしたいです。

